

乗用車600台、積載可能

RORO貨物船　玄　武

八戸港
往来船

■ 木曜日隔週企画 ■

プリンス海運（神戸市）が運航する「玄武」は、乗用車などを運ぶＲＯＲＯ貨物船。今年１月にデビューしたばかりで、積み降ろしの作業効率や燃費が向上した新造船だ。

同社の北航路で運用され、川崎港を出港後に追浜（神奈川県）、仙台、苫小牧（北海道）、八戸の各港を経由。川崎で中古車や建設重機、トレーラーシャシーなどを、日産自動車の主力工場がある追浜では新車などを積み込んで海上輸送する。

載貨重量トンは5280㌧。乗用車600台、トレーラーシャシー50本を積載することが可能だ。車両を積むために備え付けられた傾斜路のランプウエーは船の両側にあり、強度が高く、50㌧までの船積みに対応できる。八戸港には別の同型船と合わせ、週２便態勢で入港する。

玄武の就航前に運用されていた同船種の「ぷりんすはやて」は、東京のイベントに出展する八戸三社大祭の山車を運んだことも。プリンス海運八戸営業所の遠藤孝一所長は「玄武はさまざまなものを運ぶ、生活に密着した船であることを知ってもらいたい」と話す。　（松原一茂）



DATA

船名…玄武
船種…ＲＯＲＯ（ロールオン・ロールオフ）貨物船
所有…日の出海運（広島県呉市）
船籍…広島県呉市
全長…149㍍
総トン数…約８千㌧
速力…20.5㌩
入港頻度…月４回ペース